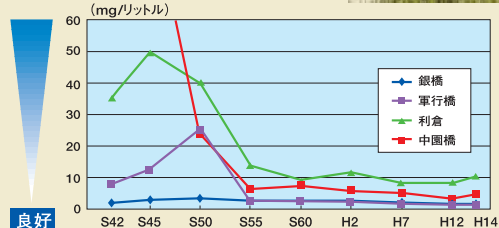


現状の課題

- 近年、水質が改善されてきましたが、水に親しんでいた頃のレベルにまで回復していません。
- ダム湖では、流入汚濁の増大に伴う富栄養化現象、深層部での貧酸素化現象に加え、ダムからの放流水の水温が下流環境に与える影響が問題になっています。
- 生物や、その生息・生育環境に適するとともに、安心して水辺で遊べ、水道水源として望ましい水質管理が求められています。



■猪名川の水質の現状 (BOD)



アオコ発生状況 (田尻川)

流域全体での取り組みを強力に推進します

整備内容

実施項目

- 16 ダム湖や河川の水質調査を継続実施するとともに、ダイオキシンなどの有害化学物質についても調査します。

一庫ダム

整備内容

検討項目

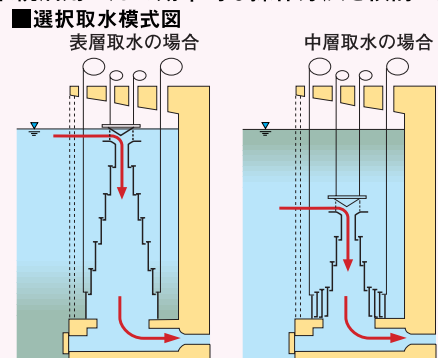
- 琵琶湖・淀川流域水質管理協議会 (仮称) の設立を検討します。
- 流域全体
- わかりやすく、河川特性に応じた水質目標の設定
 - 関係機関等との情報共有と住民との連携の強化
 - 水質事故の防止・対処の取り組みの強化
 - 具体的なアクションプログラム作成とフォローアップ体制の検討
- 「淀川流域の水物質循環に係る調査」を実施します。
- 流域全体

- 水質管理体制を強化します。
- 流域全体

- 17 既設の選択取水施設、深層曝気装置を継続活用し、より効率的な操作方法を検討します。
- 一庫ダム

- 18 ダム湖の底質モニタリングを継続実施し、底質改善対策についても検討します。
- 一庫ダム

- 河川水質だけでなく、沿岸海域の水質も視野に入れた総負荷削減のため、流域と連携を図ります。
- 流域全体



現状の課題

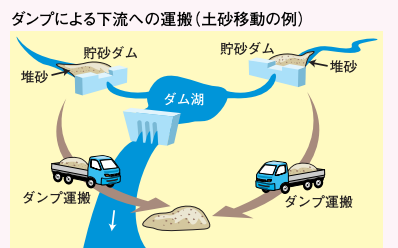
- ダムなどの河川横断工作物によって、土砂移動の連続性が阻害されています。
- そのため、下流河川の一部区間で河床材料の変化を招き、水生生物の生息・生育環境に影響を与えているところもあります。

山地から沿岸に至るまで、総合的に検討します

整備内容

検討項目

- 19 土砂移動の連続性確保について検討します。
- 一庫ダム

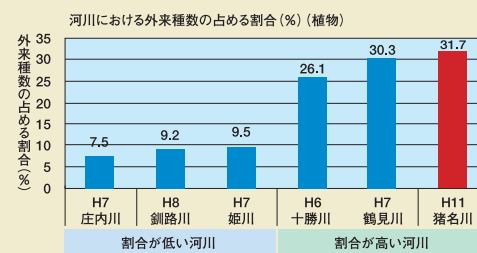


洪水時に、ダンプ等により土砂を運搬させダム下流へ流す。

現状の課題

- これまでの河川整備により、河川環境は大きく変化してきました。
- こうした変化も受けて、固有種を含む在来種が減少する一方、外来種が増加しています。
- 湿地性植物から陸地性植物への移行が進むなど、長年育まれてきた生態系に変化が生じています。

■植物の出現種数に占める外来種



■猪名川の名外来種



■密放流による外来種



モニタリングを継続実施し、対策を検討します

整備内容

検討項目

- 生物の生息・生育環境を脅かす外来種対策を進めます。
- 流域全体

関係機関、地域住民等と連携しながら推進します。

自治体の条例制定に向けた調整・協議をします。

広報・啓発

予防措置

すでに侵入した外来種への対応

調査・研究

現状の課題

- 河川は多様な自然景観を有し、都市空間における貴重な親水空間でもあります。場所によって、コンクリート護岸・橋梁等が周辺の景観と調和していません。
- ダム貯水池の法面では、裸地が存在するところもあり、景観を損ねています。

■一庫ダム貯水池法面の裸地



周辺の景観との調和、裸地対策を検討します

整備内容

実施項目

- 周辺景観との調和に関して検討するとともに、河川管理者以外が実施する橋梁整備等許認可に際しては河川景観の観点から助言を行います。
- 流域全体

整備内容

検討項目

- 20 ダム貯水池の法面における水位変動域の裸地対策として、緑化を検討するとともに、その結果を踏まえて試験施工を実施します。
- 一庫ダム

- 河川の景観を特徴づけている樹林帯などの保全については、治水上の影響・効果を考慮しつつ検討します。
- 流域全体

現状の課題

- 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置や、それらの工事に伴う濁水の発生などが、生物の生息・生育環境に影響を与えています。

河川工事は、工法などに細心の注意を払います

整備内容

実施項目

- 生物に配慮した護岸工法を採用し、生物の生息・生育に影響を与えないよう、濁水防止等の措置を実施します。
- 流域全体

- 魚類の遡上・降下時期や産卵期、鳥類や昆虫類の繁殖期、植物の結実期等に配慮します。
- 流域全体

- 現況の植生を考慮し、必要最小限の道路幅、ルートとなる工事用道路を設置します。
- 流域全体

- 工事中の振動や騒音等を最小限に抑える施工機械を使用します。
- 流域全体